

コースNo. 4-8 越境学習プログラム『here there』

(株)日本能率協会マネジメントセンター主催研修

地域の社会課題解決に取り組み、五感で学ぶ越境体験を通じて柔軟な思考発想を育み、自律的な行動変容を目指すプログラム



ケーススタディではない地域課題を”リアル教材”に、その地域の実態を五感で捉えながら、多様な価値観を持った地域や異業種のリーダーたちとの対話・協働、そして深い内省を通じて学ぶプログラム。「価値観が揺さぶられる経験」を通じて、今まで当たり前と思っていた「暗黙の前提」に対して健全な疑問を持ち、課題の本質を問う力、前提にとらわれない柔軟な発想思考、そしてその解決に挑むマインドを養います。



コースのねらい

- 地域での体験や多様な参加者との対話から、固定観念を打破し、価値観を揺さぶることで、新たな視点を養う
- 内省を通じ、自身の働く意味や成し遂げたい志、大切にしたい価値観を再認識する
- これからのリーダーに必要な力を認識するとともに、多様な人材との連携実践を通じて育む
- 社会課題への当事者意識を育む ■ 異業種(同志)とのネットワークを構築する

【参加後にめざす姿の例】

- ・多様性の必要性を理解し、実践が出来ている ・学が意欲、働く意欲が向上し、挑戦へのマインドが身についている
- ・自律的なキャリア開発が出来る ・社会課題解決への視点・関心が生まれている 等参加者の目的により異なります

プログラムの学び方

Before session @オンライン

越境前 学びの姿勢づくり

- ・越境学習、越境先、仲間を知る
- ・越境の目的を認識する

現地 session

越境中 体験・対話・内省

- ・テーマを軸に多様な価値観との交流
- ・没入体験と対話による深い内省
- ・気づきを日常業務に繋げる問いかけ

After session @オンライン

越境後 自組織への展開

- ・学びの振り返りと整理
- ・自組織への接続

研修参加対象者

業種・役職問わず、リーダーとしての活躍・成長を期待される方を対象としております。

おすすめ

- ・役職にはついていないが、今後のリーダーとして期待される方
- ・管理職として早期に期待される職場リーダー
- ・次期経営者として期待される選抜管理者 など

参加者の声

・防災教育の考え方(問題が起きる前に対策や対応を考え訓練しておくこと)や、過去の経験／言葉の意味を短絡的に捉えてしまうことは、正常の判断を鈍らせる可能性があること等、自分が普段から関わっている人材育成にも通ずる部分が多くあった。

・バイアスのかかっていない、様々な目を通して自分自身を見つめ直す機会ができ、とても有益な時だった。

・前向きな人が発するエネルギーはすごい。自分も一緒に行動することで、ポジティブエネルギーで満たされた。

コース及び年間スケジュール

NO	地域	テーマ	出会う人々	2024年度実施日程	before session	after session	申込み締切
1	岩手県 釜石市	レジリエンス&トライ！ 不撓不屈のマインドとインフォーマルリーダーシップ	・防災の語り部、震災当時中学生 震災を機にUターンした起業家 復興に関わるために大企業の社内起業家	6/17(月)～20(木)	6/10(月) 16:00～18:00	7/8(月) 15:30～18:00	5月27日
				12/2(月)～5(木)	11/25(月) 16:00～18:00	12/23(月) 15:30～18:00	11月11日
2	福井県 永平寺町	「禅」とSDGs 幸福度ナンバー1の地域で ウェルビーイングを考える	・廃線危機から復活を成し遂げるえちぜん鉄道の幹部 ・大本山永平寺の僧侶・雲水のみなさま ・地元大学生・地元事業者	9/11(水)～14(土)	9/4(水) 16:00～18:00	10/2(水) 15:30～18:00	8月21日
				2025年 1/15(水)～18(土)	1/8(水) 16:00～18:00	2/5(水) 15:30～18:00	12月25日
3	高知県 高知市	「課題を資源に」 土佐山流ポジティブ転換力	・土佐山を学びの地にプロデュースする移住者起業家 ・土佐山地区の住民のみなさん (農家・林業家・畜産家・移住者)	8/21(水)～24(土)	8/8(木) 16:00～18:00	9/9(月) 15:30～18:00	7月31日
				2025年 2/12(水)～15(土)	2/4(火) 16:00～18:00	3/5(水) 15:30～18:00	1月22日
4	岩手県 住田町	人口5000人の森林の町で キャリア自律の火種を灯す	・街づくりにコミットする事業家 岩手を代表する林業家 ・岩手県立住田高校の全生徒	7/3(水)～6(土)	6/26(水) 16:00～18:00	7/24(水) 15:30～18:00	6月12日
				2024年11月に開催予定			
5	和歌山県 太地町	捕鯨の町で、ジャーナリストと考える ”伝えるメッセージ戦略”	・捕鯨問題を世界に発信する 外国人ジャーナリスト ・太地漁協 漁師・漁協、太地町役場のみなさま ・鯨類研究者(くじら博物館学芸員)	10/16(水)～19(土)	10/9(水) 16:00～18:00	11/6(水) 15:30～18:00	9月25日

※プログラム参加費用:198,000円/1名様(税込) 別途、旅行代金および、地域までの交通費がかかります。
※内容は2024年2月現在のものであり、今後変更となる可能性がございます。また未定箇所は確定し次第更新いたします。
※上記日程で開催されるプログラムは複数社参加による異業種交流を前提としています。なお一社内カスタマイズ実施も別途承ります(日程応相談)。

プログラム例



「主体性」が牽引する釜石の出来事と復興

震災と復興の現場で困難を乗り越えたリーダーから学ぶ 岩手県釜石プログラム

「鉄と魚とラグビーのまち」として知られる岩手県釜石市。度重なる震災による被害を受けながらも、多くの人々が自己を変容し続けながら、まちの変革に取り組み、復興へと進み続けています。新たなまちづくりに取り組む人々からインフォーマルリーダーシップを感じ取り、釜石の「レジリエンス」と未来へ進む「トライ」の精神を学びます。

過去・現在・未来と迎える

プログラムの始まりは、防災マネジメントプログラムから。震災発生直後の状況を再現したケースワークと当時中学生だった語り部ツアーで震災の追体験をします。リーダーに求められる非常時の行動指針や意思決定の難しさを体験します。

死地を乗り越え、郷土への愛をひとつずつ形にする宝来館女将岩崎昭子さんの講話に皆さんは何を思うでしょうか。地域への支援活動として林道整備にご参加いただけます。



人口減少時代の地方創生推進、オープンシティ戦略へ

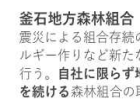
人口減少・少子高齢化に対応し、地方創生を推進するための羅針盤として策定されたオープンシティ戦略。人口減少時代の持続可能なまちづくりのモデルとして注目を浴びています。
市民、よそ者、多様な人が役割を持ち、新たな価値を生み続ける開かれたまち釜石で、持続可能性とはどうあるべきか、地方創生における本質的な問と取り組みから学びます。



出会うリーダーたち



株式会社パソナ東北創生 代表取締役社長 戸塚 絵梨子さん
新卒で株式会社パソナに入社後、ボランティア・NPOでの釜石復興活動に携わった後、2015年にパソナ東北創生を岩手県釜石市に設立。地域内外のヒト・シゴトのマッチング事業を行っています。
”よそ者”である彼女が、東北創生に熱い想いを注ぐ原動力はなにか。経営者として奮闘する戸塚さんから学びます。



釜石地方森林組合 理事 兼 専事 高橋 幸男さん
震災による組合存続の危機を越え、被災木の活用、木質バイオマスエネルギー作りなど新たな取り組みに挑戦し、持続可能な自然環境づくりを行う。自社に限らず地域内外ステイクホルダーを巻き込み、新たな挑戦を続ける森林組合の取の多様な取り組みから、構想力や共創力を学びます。



釜石プログラム日程				動画: https://www.youtube.com/watch?v=UwLe1zU9c
■日程/事前事後研修: 別シート参照				■集合場所: 新花巻駅※集合場所まで各自ご移動
1日目	2日目	3日目	4日目	
移動 新花巻駅集合	オープンシティ推進室講話 復興街づくりフィールドワーク	釜石地方森林組合講話	内省とトライ宣言	
非常時における マネジメント研修	宝来館女将講話 地域貢献活動	移住した方との対話	移動 新花巻駅解散	
内省・懇親会	内省	内省・地域交流		